

平成30年度決算を認定しました

決算
審査

認定

9月2日から5日までの4日間にわたり、議長、監査委員を除く19名で構成される決算特別委員会が、平成30年度の決算を審査しました。一般会計の歳入決算額は、400億100万円、歳出決算額は、354億749万円で、歳入歳出差引額は、45億9,351万円となりました。

このうち、翌年度へ繰り越す財源が、17億1,794万円、実質収支は、28億7,557万円となりました。

平成30年度の事業の一部を紹介

(仮称)小泉交流センター建設事業費

5千34万円



※小泉交流センターイメージ

小泉交流センターの建設に要した経費

焼却施設等運営費

9億9,418万円



※三の倉センター

ごみの焼却施設の運営に要した経費

予防接種費

2億3,650万円



定期予防接種の実施に要した経費

道路橋りょう維持費

1億6,903万円



道路や橋りょう等の維持管理に要した経費

自動車購入費

1億9,951万円



35m級伸縮水路付はしご車の購入に要した経費

昭和小学校近接校対応調理場建設事業費

2億3,581万円



昭和小学校近接校対応調理場の建設に要した経費

決算審査質疑

一般会計に関する質疑から一部を紹介いたします。

問 市税の増加要因は。

答 全般的に景況感が良かったことあるが、企業誘致によって雇用が生まれるなどの効果があり、昨年と比べ、法人市民税、償却資産も含めた固定資産税および都市計画税を合わせ、7千600万円ほど増加している。

問 生活困窮者自立支援事業費の事業委託料2千300万円の具体的な支出の内容は何か。

答 これは、生活困窮者自立支援法に基づく事業費であり、生活保護を受ける一歩手前でその可能性のある方を救うことを目的としている。生活費の使い方についてのプランの作成や、家計改善の支援を行っている等多治見市社会福祉協議会への委託料となっている。

問 平成30年度は、新規の相談件数が105件、本人から27件、家族から10件などの相談に対応した。母子保健事業推進費の乳幼児健康の実施状況について、4か月児健診の受診率が99.4%と高いが、未受診者への対応はどのようなか。

答 入院中の方、長期間外国に滞在している方、すでに保育園に入園し

ている方がいる。

そういった未受診の方に対し、はがきや電話での勧奨、場合によっては保育園、幼稚園を訪問して健康状態を確認している。

しかし、このような場合は、医師の診察が伴わないので健診としてみなされず、受診率に反映されない。ただ、未受診者の中に虐待の問題が潜んでいる可能性があり、全国的に問題となっているので、未受診の方へ必ず確認することを徹底している。

問 有害鳥獣捕獲事業費について、豚コレラの発生により影響を受けた担当課の取り組みはどのようなであったか。また、現状はどのようなか。

答 豚コレラは、昨年9月に岐阜県内で発生した。当初、有害鳥獣捕獲の延長で、イノシシの捕獲を行っていたが、県内で感染が拡大したため、岐阜県と農林水産省で、昨年の発生以降、現状行っているワクチン対策の話合いが行われた。

年度末に豚コレラのワクチンを散布するという事業もあったが、それ以前から、豚コレラが発生したところから10km圏内において、県が行った調査捕獲に協力した。昨年度の豚コレラの発生以降、野生イノシシの目撃情報や苦情は

かなり減り、今年度の捕獲頭数は激減している。

この議会だよりは1部当たり11.44円(税込み)で、40,300部作成しています。



リサイクル適性

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄するときは、燃やさず、資源回収等に出しましょう。

16